

第22回 食・農・環境の情報ネットワーク全国大会

[TOP](#)[開催概要](#)[プログラム](#)[参加申込](#)[アクセス](#)

欧州の適正農業規範に学ぶ
- 日本農業のあるべき姿を求めて -

Information

2010/4/24

さらに詳しい報告は、[普及ニュース第13号](#)をご覧ください。

2010/4/24

開催終了いたしました。たくさんのご来場、ありがとうございました。

2010/4/16

まだ、お席に若干の余裕がございますので、当日の受付も承ります。
2日間受講される方は、お名刺を3枚ご用意ください。

2010/4/1

[共催団体が新しく加わりました。](#)



開催: 2010年4月22日(木)~23日(金)
会場: 東京大学弥生講堂(東京大学農学部内)
主催: 農業情報学会
: 一般社団法人 日本生産者GAP協会



大会事務局 GAP普及センター
〒305-0035 茨城県つくば市松代4-9-26-203
TEL: 029-861-4900 FAX: 029-856-0024
Email: info@gapcenter.jp 担当: 山藤(さんとう)

■シンポジウムの狙い

EUの共通農業政策では、GAP(適正農業管理)は「農業者が守るべき最低限のマナー」として生産者の義務になっています。また、GAP以上の「環境や景観に対する明らかな便益」や条件不利地域での法令遵守に対する「単一支払い」「直接支払い」によって農業者への所得補償を行っています。

EUの農業政策とGAPに学び、その正しい理解に努めれば、GAPは、単に「食の安全」を確保する手段ではなく、今、期待される「適切な農業生産の行為」であることが判ります。GAPにおける「適切さ」は、法令や科学に基づくものであり、農業の健全性を示す指標です。究極的には「人間活動と自然環境との調和」という人類の永遠の課題への農業分野における約束事です。

本シンポジウムでは、『英国の農業環境保護のための適切な農業実践の規範』を詳細に読み解くことで、欧州のGAPへの取組みに学びます。その上で、欧州とは異なる「水稲を中心とする日本農業」の進むべき方向について議論し、『農薬およびPOPsの環境汚染とその防止』について学び、『日本農業のためのGAP規範を創る』必要性和規範の内容について議論を深めます。

また、EUでは、「欧州営農指導補償基金」による「農業技術員制度」で生産者に対する農業技術情報サービスを行っていますが、本シンポジウムでは、日本で先進的な取組をしている農業改良普及指導員の「GAP指導者の養成」とその普及指導員による「GAP指導事例」について学びます。

■開催概要

期 日	2010年4月22日(木)～23日(金)
会 場	東京大学弥生講堂(東京大学農学部内) HP 東京都文京区弥生1-1-1 東京大学農学部内 TEL: 03-5841-8205
名 称	第22回 食・農・環境の情報ネットワーク全国大会 GAP導入シンポジウム
テ ー マ	欧州の適正農業規範に学ぶ ―日本農業のあるべき姿を求めて―
ねらい	欧州のGAP先進事例である「イングランドのGAP規範」を読み解いて、日本に相応しいGAPを科学的に理解し、「日本版GAP規範」の必要性とその内容について議論する。また、都道府県普及指導員の「GAP指導者養成」と指導員による「GAP推進事例」に学ぶ。
主 催	農業情報学会 / 一般社団法人 日本生産者GAP協会
共 催	東京大学大学院農学生命科学研究科Agricultural Bioinformatics Unit / 東京大学大学院農学生命科学研究科 生態調和農学機構 / (株)AGIC
事務局	GAP普及センター
来場対象	農業試験研究者、農業普及関係者、大学・大学校、農業高校、農業生産者、農業法人、農協、出荷組合、産直団体、農林行政機関、卸売市場、卸売会社、農産加工会社、農産物流通・小売企業、外食企業、消費者、その他
参加費	(資料代) <<主催、共催団体の会員>> ¥10,000 <<一般>> ¥15,000 <<学生>> 受講無料

■プログラム:4月22日(木)

09:00～	受付
09:30～	開会
主催者挨拶	農業情報学会副会長・大会実行委員長 二宮正士 東大・生態調和農学機構 (一社)日本生産者GAP協会 片山寿伸 片山りんご株式会社
10:00～	
基調講演	『英国の農業環境保護のための適切な農業実践の規範』－翻訳者が語るGAP規範の中味－ 山田正美 元福井県農林水産部技幹
11:30～	昼休み(11:50～ 一般社団法人日本生産者GAP協会総会)
13:00～	
講演	『欧米の農業環境政策から見た日本農業の進むべき方向』 西尾道徳 元筑波大学教授
14:00～	
講演	『農薬およびPOPsの環境汚染とその防止』 與語晴洋 (独)農業環境技術研究所
15:00～	休憩
15:15～	
講演	『日本農業のためのGAP規範を創る』 田上隆一 (一社)日本生産者GAP協会
16:40～	終了
17:00～	
情報交換会	『現場でGAPの普及に取り組む人達の意見交換会』 会費3,000円

■プログラム:4月23日(金)

09:00～	受付
09:30～	
事例報告	『GAP指導者の養成とGAP推進のための戦略』 1. 『県が行うGAP普及のP・D・C・A』 植木与四郎 栃木県農政部経営技術課 2. 『JAと共に取り組むGAPとGAP指導者養成』 大池英樹 長野県農政部農業技術課 3. 『健全な和歌山農業の実践』 谷口 忠 和歌山県農業協同組合連合会 4. 『GAP指導者の育成と普及の取組み』 上井憲治 神奈川県環境農政部農業振興課 5. 『GAPアドバイザー派遣事業の成果』 田中仁士 茨城県生活環境部環境対策課水環境室
12:00～	昼休み
13:00～	
事例報告	6. 『産地でGAPに取り組む部会の農場巡回指導』 久保長政 福井県農林水産部食の安全安心課 7. 『統一ブランドでGAPに取り組むJA営農指導』 越智政友 ゼスプリインターナショナルジャパン 渉
14:00～	
総合討論	－環境を重視するGAP普及の条件－ 【論点整理】 ・日本におけるクロスコンプライアンスとして期待される直接支払い ・国レベルの適正農業規範と地域の規範の在り方 ・普及支援制度を活用したGAP指導者の養成について

「日本産物産物活用中心」GAP指導者の役割について

・GAP推進のための総合的な戦略

司会: 田上隆一 (一社)日本生産者GAP協会

パネラー: 事例報告者

16:00

閉会